



令和 2 年 9 月 10 日発行

〈医療法人社団 佐々木クリニック 介護老人保健施設 クローバー〉

〒191-0054 日野市東平山 3-1-1

☎042-585-8061



【 残暑お見舞い申し上げます】

今年は、新型コロナ騒ぎの中、クーラーも使えず家に籠っているお年寄りや気温 35℃を超える校庭での子ども達に熱中症の多発していることがニュースになっています。

9月は、例年通り、人生の秋におられるご利用者・ご高齢者の皆さんに、これまでの人生のご健闘をたたえる「敬老の日」の月でもあります。

当施設でも、「敬老の日」のイベントを準備しております。しかし今年は、新型コロナの流行が収束しておりません。そこで施設外からお見えになるご家族やご来賓の方々、またイベントにお手伝いいただく演奏家、出店などのボランティアの方々に例年通りの参加をお願いできなくなりました。その代わりに職員一同で、より頑張って準備いたしますので、ご期待ください。

私は、毎週日曜日の朝、「おはようございます」と挨拶に伺っておりましたが、この流行が収束するまでは、それもできませんので、早く、再開できることを願っております。

今夏は、保育園ひよこハウスの子どもたちも「感染予防」のために、夏のプールは中止となり、とても残念です。園庭などで、水遊びをして、涼を取ってはおりますが、ダイナミックな夏の楽しみを奪われて、かわいそうです。今夏は蝉の声も少し、元氣なく聞こえます。

ひよこファームでは、向日葵の花が咲き、スモモが実をつけ、食べるとおいしく、これからは、みかんの収穫が楽しみです。またふれあい農園では、全面に蕎麦の芽が双葉になって 10~20cm くらいの丈に成長しています。

このように自然は、しっかりと四季の歯車を回しています。新型コロナももう少しの辛抱で収束しますが、その後の社会経済は、今までとは様変わりするでしょう。先の大戦後の混乱期を耐え、戦後の経済成長ご利用者を支えたご利用者の皆さんの経験を参考に、コロナ後の日本の社会経済を再生していくことになりそうです。

これからもご利用者・ご家族の皆様と施設職員が協力しながら、新型コロナ対策をしっかり行って、収束まで頑張ってみましょう。

今月も、よろしくご協力をお願い申し上げます。

佐々木 榮一

